

# シルバーあみ

公益社団法人阿見町シルバー人材センター  
広報委員会

住所 〒300-0331

稲敷郡阿見町阿見4671-1

TEL 029(888)2036

FAX 029(840)2486

URL (ホームページ) <https://webc.sjc.ne.jp/ami/>

会員数 349名(10月31日現在)

男 247名 女 102名

特別号 令和3年11月25日発行

安全就業スローガン

- ・チョットまで 作業の手順 手を抜くな!
- ・無災害 個々の意識が 実を結ぶ

## 設立30周年記念式典特別号



令和3年11月2日(火)来賓として久保谷充阿見町議会議長、湯原勝行保健福祉部長、戸井厚高齢福祉課長をお迎えし、菊薫る中、阿見町シルバー人材センター設立30周年記念式典が執り行われました。表彰式では、会員表彰42名、特別表彰18名、役員表彰4名、職員表彰1名の方々に賞状及び記念品が贈られました。また、サプライズとして阿見町のマスコットキャラクター「あみっぺ」にもメッセージをいただきました(後記)。



ありがとう  
ございました

## 理事長あいさつ

### 設立 30 周年を迎えて

理事長 千葉 繁

公益社団法人阿見町シルバー人材センター設立 30 周年の記念式典を開催するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、公務ご多忙のなか、ご来賓の久保谷町会議長、湯原保健福祉部長、戸井高齢福祉課長には、ご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

阿見町シルバー人材センターは、平成元年 4 月にミニシルバー人材センターとして、さらに平成 3 年 4 月には社団法人として設立して以来、町民の皆様をはじめ、国、県及び阿見町等関係各位から深いご理解と温かいご支援を賜り、会員の皆様とともに、この日を迎えることが出来たことを、心より感謝を申し上げます。

また、本日は、センター事業の発展のために功績があり、表彰を受けられる皆様、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。

皆様には、6 月の定時総会時に表彰する運びでしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の関係で本日にになりましたこと、お詫びを申し上げます。

さて、地域の高齢者の生きがいづくりや福祉増進のために設立されたシルバー人材センターですが、当初の会員数は 171 名、契約件数は 587 件、契約実績額は 47,995 千円、うち公共関係契約実績額は 13,438 千円でのスタートでした。

その後、平成 25 年 4 月に公益社団法人として認可され、現在では会員数 350 名（約 2 倍）、契約件数は 2,161 件（約 3.7 倍）、契約実績額は 223,524 千円（約 4.7 倍）、うち公共関係契約実績額は 114,427 千円（約 8.5 倍）となり、今日にいたっております（令和 2 年度実績）。

これまでの 30 年という長い歳月の間には、リーマンショックによる経済的な低迷や東日本大震災の影響、労働環境の大きな変化などがあり、決して順風満帆とは行かなかった時もあったことと存じますが、飛躍的に発展を遂げた一番の要因は、何と言っても会員の皆様、役職員の皆様のたゆまぬご尽力の賜物であって、地域に根ざした団体として着実に築き上げて来られたものと、改めまして深く敬意を表するとともに、町民の皆様、企業の皆様のご理解、ご協力に厚く御礼を申し上げる次第です。

現在におきましても、コロナワクチンの予防接種が進んだとはいえ、新型コロナウイルス感染症の収束が見えないなか、これまで経験したことがない「緊急事態宣言」や「県独自の非常事態宣言」が出され、マスク着用、手洗い・手指消毒、検温、三密を避ける、外出の自粛、行事・イベントの中止、事業所や各種施設、学校等の閉鎖が行われるなど、これまで「当たり前だった生活」が当たり前でなくなり、「新しい生活様式」へと、これまでの行動に対しての変化が求められる時代となってきております。

会員の皆様が就業している場や環境も、施設の休館や時間短縮、就業時間の減少、契約解除など、収入の面や働く機会の面において余儀なくされ、厳しい状況が続きますが、これまでと異なった生活様式が求められるなかにおいて、シルバー人材センターとその会員の皆様が果たす役割は、決して小さくないものと認識いたしております。

そして、地域に密着した活動を着実に進めていくためには、従来の仕事や活動の経験を基本としながらも意識改革をして、時代の要請に沿った新たなチャレンジが重要になるものと考えております。

私は、令和元年 6 月に理事長に就任し、これまで会員の皆様の先頭に立って積極的に運営に携わってまいりましたが、引き続き、皆様にふさわしい臨時的かつ短期的、軽易な業務の就業機会の提供を行うとともに、皆様の希望に合った新しい就業の場を求めていくための PR 活動と高齢者の社会参加を推進し、会員数の拡大に繋げ、地域社会の期待に応える魅力あるセンターとなるよう努める所存です。

皆様には、安全就業を最優先としながら、いつまでも活躍し続けることができる「生涯現役社会」の実現に向け、本日を新たなスタートとして位置付けて、更なる活躍にご期待するとともに、なお一層のお力添えをお願いいたしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。



## 来賓祝辞

### 設立 30 周年を祝して

本日ここに、公益社団法人 阿見町シルバー人材センターが設立 30 周年を迎え、記念式典が挙行されるにあたり、阿見町議会を代表して、一言お祝いを申し上げます。

貴センターにおかれましては、平成 3 年に法人格を取得されて以来、高齢者が働くことを通じて健康で生きがいを得る場を提供するとともに、地域社会の福祉向上に多大な貢献をされてきました。そのご功績に対し、深く感謝と敬意を表する次第であります。

平成の時代とともに歩んできたこの 30 年間は、経済状況、雇用情勢及び、人口構成の変化や、東日本大震災などの災害に対し、歴代の理事長を始めとする、役職員及び会員の皆様は、この間の組織の健全な運営に、英知と大きな努力を注がれてきたものと推察いたします。

また、阿見町や商工会主催の「さわやかフェア、商工まつり」への参加を通じ、シルバー人材センターの PR 活動や、国道 125 号線バイパス歩道美化活動、予科練平和記念館清掃奉仕活動、霞ヶ浦清掃奉仕活動、中央地区緑地公園の植木の剪定奉仕活動などでのボランティア活動に汗を流す会員の皆様の姿は、元気な高齢者を代表する象徴として、町民に大きな活力を与えてくれました。

一方で新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、医療機関はもとより各方面に多大なる影響を及ぼし、いまだ収束が見通せない状況にあります。

阿見町議会としましても、厳しい自治体運営を迫られるなか、今後の新型コロナ感染対応に、最善を尽くすとともに、これからも高齢者の生きがいづくりのための施策推進に一層努力してまいり所存であります。

貴センターが、令和の新時代にこれまでの足跡の上に、5 年、10 年と歴史を積み重ねて、シルバー人材センターの理念である「自主・自立、共働・共助」の精神に基づき、更なるご繁栄、ご発展を願っております。

結びに、理事長始め、会員の皆様のますますのご健康とご活躍をご祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

阿見町議会議長 久保谷 充 様



### 設立 30 周年を祝して

公益社団法人

茨城県シルバー人材センター連合会  
会長 綿拔 剛 様

この度、公益社団法人阿見町シルバー人材センターが、設立 30 周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴センターにおかれましては、ミニシルバーとして平成元年 4 月に発足されて以来、長きにわたり地域の高齢者の生きがいづくりや福祉増進のために大きな貢献をされてこられました。これもひとえに、歴代の理事長さんをはじめ会員の皆様、役職員の皆様のご尽力の賜物と深く敬意を表する次第でございます。

人口減少や少子高齢化が急速に進む中、成長力を確保していくためには、働く意欲がある高齢者が活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することが重要となっています。

このような中で、貴センターは、平成 3 年 4 月に社団法人へと移行し、現在 350 名の会員を擁して、昨年度は、年間 2,161 件、2 億 2 千 4 百万円の受注実績をあげられています。特に、安全就業に力を注いでおり、優れた成果を上げられたことから、これまでに、県安全就業推進大会（県シ連）におきまして「優良賞」を表彰させていただきました。



さらに、県シ連の高齢者活躍人材確保育成事業講習、派遣キャリアアップ講習への積極的な参加やセンター独自の自動車安全運転講習、AED講習、接遇マナー講習、植木剪定技能講習等の個々のスキルアップや社会奉仕活動の推進を図られ、併せて、適正就業の確保に努めておられるなど、熱心にシルバー事業に取り組んでおられますことに改めて感謝を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見えず、先行き不透明な状況下ではありますが、設立 30 周年を新たな契機としまして、より一層地域社会の期待に応える魅力あるセンターとして成長し続けるよう、ご期待申し上げます。

阿見町シルバー人材センターの今後ますますのご発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます、お祝いの言葉といたします。

## 「あみっぺ」からのメッセージ

皆さん、こんにちは！ あみっぺです。広報あみお知らせ版(11月12日発行)「あみっぺが行く」では、「シルバー人材センター」へ取材でおじゃまをし、本当にありがとうございました。皆さんの仕事ぶりや頑張っている様子が、よくわかりました。また、このたびは30周年、おめでとうございます！これからも、皆さんお元気で、長生きしてね。

応援しているよ！ バイ、バイ、またねっ！！



## 表彰

○会員表彰 代表 木村七郎 様



○特別表彰 代表 岩田 栄 様



○役員表彰 高野 登 様



大崎 忠 様



○職員表彰 木暮博美 様



受賞者謝辞

○会員表彰代表者

僭越ながら、受賞者を代表しまして御礼の言葉を述べさせていただきます。

私は、この10年のうち8年間を老人福祉施設の「まほろば」で、入浴担当の管理係として勤務させていただきました。

はじめの頃は、正直のところ朝8時半から夜8時半までの、かなり肉体労働を含む12時間勤務にいい加減うんざりしていました。それが3年ほど経った頃から「まほろば」の利用者であるお客さんが帰られるときに『今日のお風呂はとても気持ち良かったよ、元気が出るよ、有難う！』と言葉をかけて下さる様になりました。当初は、そんなにも気には留めていなかったのですが、その感謝の言葉を何度も聞いているうちに「こんなにも喜んでもらっているんだ！」と、とてもうれしい気持ちや励みになってきました。

そこで、はたと気が付いたのです。これこそがシルバー人材センターの目的である「生き甲斐の充実、社会参加の推進、ひいては活力のある地域づくりへの寄与」そのものではないかと思うようになりました。

また、お風呂のボイラーシステム等の機械・設備の故障・不具合な時には、休み中の仲間も駆けつけて助け合い、協力して対処します。

さらに、利用者どうしの諍いに対しては、他の係とも協力して対応致します。現在勤務している、かすみ公民館も同様の勤務要領ですが、これは、まさしく『共働・共助』そのものだと思います。

本日は、こういった「働く喜び・生き甲斐・心身の健康・ひいては地域への貢献」という、素晴らしい機会を提供して下さったシルバー人材センターの本部及び事務局の皆様へ、ほかの受賞者とともに感謝を込めてお礼の言葉といたします。ありがとうございました。

森下 茂生 様



○特別表彰代表者

センター設立30周年おめでとうございます。

このようなおめでたい式典で特別表彰をいただき本当にありがとうございます。

私が入会したのはセンター設立10周年の年でした。第二の人生として入会して20年間、殆ど植木班での作業でした。その後3年間中央公民館の管理業務を行いました。また、就業委員や理事を勤めてまいりました。

植木の手入れが好きで植木班に入会したのですが、植木班の作業は8時からが基本です。冬は霜柱を踏んで作業開始、夏は熱中症やハチ対策、イラガやチ

古森 貞紀 様



ヤドクガなどの毒毛虫対策など自然相手の作業です。非力の私には3年が限界と弱音を吐いていましたが、メンバーの仕事への熱心な取り組みに導かれ、16年以上も仕事が続けられたことにメンバーの皆様に感謝しています。

植木班は事務室の担当者を交えて、日頃の課題など話し合う年2回の全体会があります。情報交換することで共通理解が進む、協力関係が強くなるんです。また、年1回、松の手入れなどの研修会や研修旅行のコースに必ず名のある庭園を組み入れるなど、植木の手入れの技能を高める取り組みがあります。造園業者の資格の一つに造園技能士の資格があります。学科と実技の検定試験です。数年前に阿見町シルバー事務所で県内の各シルバーで造園技能士の資格取得者数を調べたことがありました。いても1名か2名で殆どはゼロです。阿見町シルバー植木班は14名を数えました。シルバーでは配分金には加算されませんが、この様に意欲的に技能を高める集団に囲まれて仕事が出来た事を誇りに思っています。

作業が終わり、お客さんから『サッパリしましたネ、キレイになりましたネ。』とねぎらいの言葉を受け、『来年も宜しくお願いします。』との言葉は明日への励みになりました。

一方、私は写真撮影を楽しみにしています。風景写真が中心です。作品は写真展への出品やカメラ雑誌に作品を応募したりしています。私の作品が今回、10月に発行された阿見シルバー会報紙170号の一面に掲載を頂きました。広報担当者に本当に感謝申し上げます。

最後に、会員の皆様のご健康とご多幸、そして阿見町シルバー人材センターの益々の発展を祈念してお礼の言葉といたします。

本日は、本当にありがとうございました。

#### ○役員表彰代表者

高野 登 様

役員表彰者を代表しまして感謝の言葉を述べさせていただきます。

私が役員になったのは、先ほど特別表彰を受けられた古森貞紀会員が役員を退任されたすぐ後からです。最初に安全委員からスタートし理事になり同時に事業委員と11年間に亘って役員を務めてまいりました。ここまでこれたのも各委員や同じ仲間の支えや導きがあったこそだと感謝申し上げる次第です。

これからもコロナ禍にあって活動がなかなか進まないこともあろうと思いますが、現役員さんを先頭に時代の流れの変化を的確にとらえ更に発展されることを期待しております。

私個人も役員を退任し、植木班の一員として毎日仕事に邁進しております。「お客様に笑顔を届ける」を目標に日々精進してまいりたいと思います。

最後になりましたが、私も微力ながら阿見町シルバー人材センターの発展に寄与できるように頑張っております。また、皆様のご健勝を祈念してお礼の言葉といたします。ありがとうございました。



#### ○職員表彰者

木暮 博美 様

設立30周年にあたり職員表彰を受けること恐縮している次第です。

私は、10年前の平成23年の10月にシルバーの会員として入会しました。その後5ヶ月ほど事業所で就業しておりましたところ、縁ありまして事務局に来てみないかと声をかけて頂きました。それから9年間を事務局で経理や派遣関連の仕事で自分の現役時代の知識や技能を活かせる業務を行っております。

会員の皆様や役職員の皆様との触れ合いの中で充実した9年間を過ごさせていただいています。今後は、業務の引継を見据えてウィズコロナの時代の中、シルバー人材センターの発展に貢献できるようにしていきたいと思っております。本日は、誠にありがとうございました。



表 彰
-----

🌸 会員表彰：42名

(敬称略)

1145 佐藤 利勝	1147 土谷 和彦	1156 袴田 鉄男
1158 野添 幹博	1160 宮崎 要市	1161 小平 美江子
1162 湯原 孔孝	1166 齋藤 功	1167 出戸 弘子
1168 吉田 かね子	1171 山本 剛	1174 内田 録男
1177 長南 幸雄	1184 松本 康雄	1186 遠藤 三千男
1189 栗山 功	1199 小島 常男	1203 宮本 行則
1208 根本 一	1211 福岡 峰子	1212 今井 淑子
1214 坂口 輝男	1217 竹脇 信義	1221 森下 茂生
1222 下仲 清一	1228 加藤 尚史	1229 鈴木 守雄
1234 竹内 道子	1238 岡野 捷男	1241 道川 みち子
1242 坂場 信時	1243 須永 茂夫	1248 赤木 正幸
1250 落合 進	1251 木村 七郎	1256 山下 哲郎
1258 佐藤 勝彦	1262 川村 栄子	1269 渡邊 清一
1270 冨田 静夫	1143 高橋 一嘉	1447 大曾根 雅

🌸 特別表彰：18名

620 高松 英夫	636 椎名 初代	645 古森 貞紀
660 藤平 福子	667 町田 治久	698 岡島 俊一
734 中濱 喜一郎	738 宮本 かつ子	739 丹後 節夫
740 浅見 四男	802 宮崎 喜久治	837 本沢 義紀
852 飯野 武	859 岩田 栄	861 柳瀬 和雄
876 平井 君子	879 黒田 忠宏	901 岡田 福治

🌸 役員表彰：4名

1060 高野 登	1129 大崎 忠	1075 安西 律子
1180 内田 みや子		

🌸 職員表彰：1名

木暮 博美
-------



左から（理事長を除く）  
 会員表彰  
 土谷和彦 様  
 宮崎要市 様  
 内田録男 様  
 山本 剛 様  
 長南幸雄 様  
 小平美江子 様



会員表彰  
 宮本行則 様  
 小島常男 様  
 松本康雄 様  
 今井淑子 様  
 福岡峰子 様  
 坂口輝男 様



会員表彰  
 鈴木守雄 様  
 竹脇信義 様  
 森下茂生 様  
 加藤尚史 様  
 佐藤勝彦 様  
 竹内道子 様



会員表彰  
 落合 進 様  
 富田静夫 様  
 木村七郎 様  
 赤木正幸 様



令和3年度  
設立30周年記念式典

公益社団法人 阿蘇県シニアヘルスセンター



特別表彰  
岡島俊一 様  
高松英夫 様  
椎名初代 様  
町田治久 様  
古森貞紀 様

令和3年度  
設立30周年記念式典

公益社団法人 阿蘇県シニアヘルスセンター



特別表彰  
中濱喜一郎 様  
宮本かつ子 様  
本沢義紀 様  
浅見四男 様  
丹後節夫 様

令和3年度  
設立30周年記念式典

公益社団法人 阿蘇県シニアヘルスセンター



特別表彰  
柳瀬和雄 様  
岩田 栄 様  
飯野 武 様  
岡田福治 様

令和3年度  
設立30周年記念式典

公益社団法人 阿蘇県シニアヘルスセンター



役員表彰、職員表彰  
大崎 忠 様  
高野 登 様  
木暮博美 様

## 実行委員長あいさつ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が減少傾向にある中でしたが、参加人数を極力減らして設立 30 周年記念式典を開催することができましたこと、改めて会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。また、来賓の皆様には温かい、励ましのご祝辞を賜り、誠にありがとうございました。また、受賞されました皆様におかれましては本当におめでとうございます。

これから先 40 周年、50 周年を迎えられますよう会員の皆様には、これまで培ってこられた諸先輩方の実績と会員相互の信頼関係をさらに発展させることができますようお力添えをお願い申し上げ御礼の言葉といたします。

松本 康雄



実行委員の皆さん、お疲れさまでした。



左から、大崎忠、高野登、落合進、千葉繁、松本康雄、今井淑子（敬称略）

## 設立 30 周年記念品

設立 30 周年記念品を用意しました。(写真参照)

会員全員にお配りしていますので、まだお手元に届いていない方はシルバー人材センターまでお越しください。



- ☆ タオル 1 本
- ☆ トートバック
- ☆ マスク（日本製 7 枚入り）